

□日時：2019年（令和元年）5月19日（日）13時30分～15時
□場所：熊本市立図書館（熊本市中央区大江町）2階集会室

第8回「ピースくまもと」設立準備事務局会概要報告

5 / 27 報告

1 開会挨拶 ……ピースくまもと設立準備事務局会代表 小山和作

諸般の事情でここ数回欠席が続き申し訳ありません。
先般の「北方領土戦争発言」等に見られる様に、戦争の
実相を知らず、負けたから良くなかったとの、一部の若い
世代の認識には危惧を覚える。戦争体験を継承してい
く事の大切さを伝え、資料館設立に繋げたい。



小山和作代表の挨拶

2 参加者の近況報告 ※敬称略・進行上田欣也

- 参加：小山和作・安藤富士記・上村真理子・堀浩太郎・伊藤利明・永田 昭・山野幸司・今福一郎・上田欣也・三隅康資・赤瀬 恵・高谷和生
- 参加（オブザーバー）：熊日編集局次長 本田清悟
- 欠席：久米野安俊・有馬信一・戸崎孝行・末永崇・石川幸彦・宮川和夫・吉田正昭・多田喜一郎・高野誠二・青木栄・二見正輝・勝又俊一・平野順也・矢加部和幸

3 「第2回くまもと戦争遺産の旅」事業内容、「チラシ」確認

※資料1

- 実施時期 8月4日（日）。見学先（学園大・再春荘医療センター）了解
- 主催 旅のよろこび社 宮川和夫代表
- 実施内容等 一般県民向け「大江地区戦跡・黒石原飛行場方面・菊池飛行場方面」見学会
- チラシ内容の確認 本日確認後で、修正版をメーリングリストに提示、印刷発注
- チラシ配布 旅のよろこびさんから、各団体・個人へ必要部数を郵送
- 案内・募集方法 各自で紹介・案内を。「平和憲法の会」では戦跡見学会も兼ねたい。
- 若い世代の参加を 学生・学生平和団体「ラペ」の皆さん方は「保険代」のみの負担としたい。但し2名程度とし補助席使用で、モニター調査を依頼したい。
- 日程等は昨年同様で。証言者への手配・依頼は各団体で対応。各団体・証言者への謝礼準備
- 今年度チラシ案で色目の異なる「表面を3案、裏面2案」を提示した。文言等の修正があればこの場、もしくは修正案をメーリングリストにあげるのご意見をいただきたい。
- 色目は第1回から大きく変えた「表紙B・裏面A面のもえぎ色」とする。
- Q：チラシ裏面「花房給水塔」は改修前であるので、慰霊碑に変更をしてほしい。
- A：第2回チラシのコンセプトは、第1回の様子紹介であるので、慰霊碑写真に変更する。
- Q：大江地区の見学での「活字証言の紹介」等の工夫ができないか。
- A：語り継ぐ会での収集資料で適切なものがないか探してみる。特段なければ、昨年度同様の営門前の活字証言としたい。

4 熊本に戦争と平和のミュージアム設立に向けて

(1) 戦争と平和ミュージアムの「ピースくまもと」設立 に向けてのタイムテーブル（試案Ⅷベース）

※資料2

- ア D部会：全体・参照事項
5年間スケジュールとの関わり
- イ A・B・C部会への事務局員の担当配置（案）
- ウ 要点・キーワード

前段○「熊本に戦争と平和のミュージアム設立を呼びか ける会（仮）」の設置

- 「ピースくまもと設立準備事務局会」は、それに向
けての発展的解散か……

- 新体制では、事務局会代表・事務局長ほか、事務局員全員の人選と意向確認

後段○発起人の人選、依頼、活動趣意書完成の目処

- 5年を目処に資料館を設置（新設、既存民間施設の利用、公共施設への併設等）
- 当面は市民グループとしての運営とし、将来的には「認定NPO・非営利活動法人」「一般財団法人」としての安定した運営が必要か
- 一般公募による名称・キャラ・ロゴ等の最終決定
「戦争と平和のミュージアム ピースくまもと」「くまもと平和祈念館」他



各部会毎での協議内容報告の様子

(2) 各部会での協議

※3 / 4版資料1～3を使用

- A部会：コンセプト 「同」アピール文（案）の検討
○平和ミュージアム建設ではなく「設立」等の文言の修正と整理

- 以下の点での文章整理。①九州内での熊本の特殊性・地域性を明示する表現、②戦争メモリアルには違和感もある、③平和教育の表現を具体的に示す、④多くの県民に理解していただくアピール文表現

□B部会：調査・展示・保存

「同」基本構想（案）の検討

- 以下の内容で展示を考えたらどうか。①熊本空襲に関わる報道関係資料の収集、②戦争資料の調査研究されている個人の方々の収集、③上村さん5000点資料を中心に据えて歴史構成の展示

□C部会：体制整備 「同」定款（案）等の検討

- 全体構想として設置場所・規模を全員で考えたが良いのではないかと。そのための事務所設置や調査費が必要ではないかと。

Q：各テーマ等での部会協議・全体協議の仕分け

A：全体構想等を「部会でやるのか、全体でやるのか」の問題もあるが、各部会で数回各テーマを掘り下げて協議いただき、全体やD部会等になげながら、継続して深めてほしい。

Q：全体イメージ、先進地域が分かりにくいので、コンセプトを固めるなかで視察等も必要ではなかろうか。例えば岡山空襲史料館、北九州市平和資料館（現在は埋蔵文化財センター内）、大村近現代史料館等があげられる。

A：独自の予算等はないので、再開する時期までに、各自で先進地域や先行事例等の情報をできるだけ入手してほしい。

- 設置主体が行政か民間かで、大きく様相は異なるが、まずは内容（アピール文・趣意書文・展示内容・官民設置の長短所等）を深め、行政に働きかける資料を作成していきたい。

- 大刀洗等の事例を見ると民間施設から行政に移管するなかで、歴史認識等での表現が大きく変わる事情がある。いたしかたない部分もあるが、推移をしっかりと見ていきたい。

- 関係する情報や各個人の意見や思いを出す場として、メーリングリストを活用してほしい。



A部会（コンセプト）での協議



B部会（展示等）での協議



C部会（体制整備）での協議

5 連絡事項、その他

(1) 事務局が「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会」対応で、時間がとれない事から9月末までは「ピースくまもと事務局会」は凍結・休止とした。 →了解

(2) その他

- 荒尾二造市民の会『荒尾二造 平和資料館』館内見学冊子の完成6/9元大西市長による講演会「令和の“時代に遺し伝えたいもの”」の案内。できるだけご参加ください。

6 閉会挨拶

……ピースくまもと設立準備事務局会副代表
上村真理子

今回はじめて各部会毎の協議に入ることができ、時間は限られたが大変有意義な時間であった。10月の再開に向け、各自で先進地等の見学などをされて、調査等に励まれてください。



上村副代表の閉会挨拶



連絡先

ピースくまもと設立準備会 事務局長 高谷 和生
 自宅 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5
 個人携帯 090-1513-5528
 Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp
<https://kumamoto-senseki.net/peace-kumamoto/>